

# 第 1 回

## 登録建築測量基幹技能者講習 修了試験問題

一般社団法人全国建築測量協会

受験番号		氏名	
------	--	----	--

1. 試験時間 60 分

2. 問題数 25 問

3. 注意事項

- (1) 試験問題は、試験開始の指示があるまで開かないでください。
- (2) 受講番号と氏名は、問題用紙および解答用紙のそれぞれの所定の欄に必ず記入してください。
- (3) 机上には、受講票・筆記用具・計算機以外のものは置かないでください。
- (4) 携帯電話、スマートウォッチ等の通信機能のある機器は、電源を切りカバンの中に入れて下さい。
- (5) 解答はマークシートに鉛筆かシャープペンシルで記入してください。それ以外のボールペン筆などを使用した場合は採点できません。
- (6) 問題は四肢択一方式です。正解と思う番号を次の例に従って塗りつぶしてください。

マーク例 ● (濃くマークしてください。はみ出し注意)

- (7) マークを訂正する場合は、消しゴムできれいに消して訂正してください。
- (8) 試験開始後 30 分間は退出できません。30 分経過後に解答が終了した場合は、黙って手を挙げて試験官の指示に従って退室して下さい。退室後は試験終了まで再入室ができません。
- (9) 問題用紙は、試験終了後に回収しますので持ち帰らないようにしてください。

# 第 1 回 登録建築測量基幹技能者 試験問題

【問 1】 登録基幹技能者に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

- ① 登録基幹技能者とは、プロジェクト全体を統括的に管理する者である
- ② 登録基幹技能者とは、職長として熟達した作業能力と豊富な知識を持った者である
- ③ 登録基幹技能者とは、マネジメント能力に優れた者である
- ④ 登録基幹技能者とは、国土交通大臣の登録を受けた機関が資格認定した者である

【問 2】 登録基幹技能者に求められる能力に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

- ① 全体の工程の中での、自社の工程を優先とした段取りを組むことができる能力
- ② 十分な経験を有し、熟達した作業能力
- ③ 技術の進展等に的確に対応した知識
- ④ 現場をまとめ、体系立った効率的な作業を実施するための管理能力

【問 3】 OJT 指導教育の基本知識に関して次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

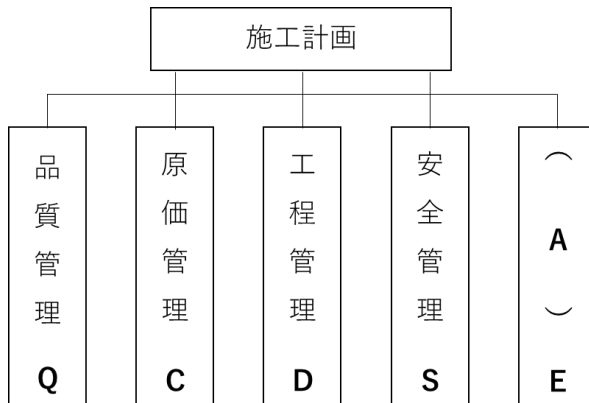
- ① 信頼とコミュニケーション
- ② 適性に合わせた指導育成
- ③ 1年に1度の研修実施
- ④ 幅広い職務能力の育成

【問 4】 適用除外申請を行わない場合に、社会保険の加入義務に関する次の表の（ A ）と（ B ）に当てはまる語句として、最も適当な組み合わせはどれか。

事業所の形態	常用労働者の数	就労形態	健康保険	年金保険	雇用保険
法人	1人～	常用労働者	協会けんぽ	厚生年金	加入
	-	役員等	協会けんぽ	厚生年金	適用除外
個人事業主	5人～	常用労働者	（ A ）	（ B ）	加入
	1～4人	常用労働者	国民健康保険	国民年金	加入
	-	一人親方	国民健康保険	国民年金	適用除外

- ① A：国民健康保険 B：国民年金
- ② A：協会けんぽ B：国民年金
- ③ A：協会けんぽ B：厚生年金
- ④ A：国民健康保険 B：厚生年金

【問 5】 施工計画に関する次の表の（ A ）に当てはまる語句として、最も適当なものどれか。



- ① 衛生管理
- ② 環境保全管理
- ③ 施工管理
- ④ 体調管理

【問 6】 PDCA サイクルに関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

- ① Plan=計画を立てる
- ② Do=計画に基づき実施する
- ③ Check=結果と計画を比べ検討する
- ④ Action=報告書を提出する

【問 7】 施工計画に関する次の記述のうち、流れとして最も適当なものはどれか。

- ① 管理計画→事前調査→基本計画→詳細計画
- ② 事前調査→基本計画→詳細計画→管理計画
- ③ 事前調査→管理計画→基本計画→詳細計画
- ④ 基本計画→事前調査→詳細計画→管理計画

【問 8】 安全管理計画のハインリッヒの法則に関する次の記述のうち、最も適当なものはどれか。

- ① 1 (死亡・重傷) : 29 (軽傷) : 100 (無傷災害)
- ② 1 (死亡・重傷) : 29 (軽傷) : 200 (無傷災害)
- ③ 1 (死亡・重傷) : 29 (軽傷) : 300 (無傷災害)
- ④ 1 (死亡・重傷) : 29 (軽傷) : 400 (無傷災害)

【問 9】 日程計画に関する次の式の（ A ）に当てはまる語句として、最も適当なもののはどれか。

$$\text{作業可能日数} \geq \text{所要作業日数} = \frac{\text{工事量}}{\text{（ A ）}}$$

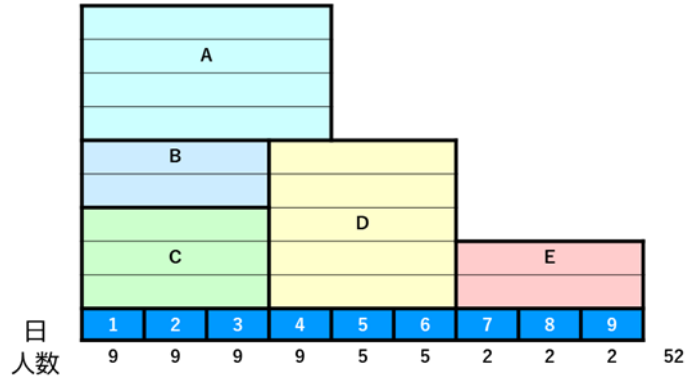
- ① 1日あたりの平均休憩量
- ② 1日あたりの平均稼働量
- ③ 1日あたりの平均予算
- ④ 1日あたりの平均施工量

【問 10】 次の文章の（ A ）に当てはまる語句として、最も適当なもののはどれか。

ネットワーク式工程表は横軸に日数、縦軸には施工箇所などを表わす。  
作業の表し方は、作業を実線で表示する（ A ）と作業を丸印で表示する  
サークル型があり、ネットワーク工程表の特徴として、作業手順、作業の相互  
関係がわかることである。

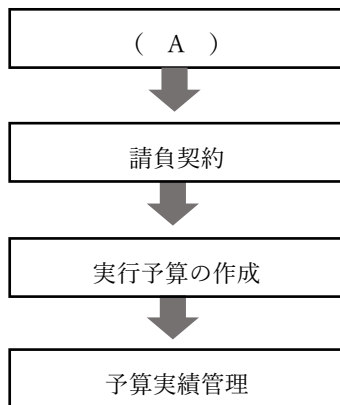
- ① ライン型
- ② スクエア型
- ③ トライアングル型
- ④ アロー型

【問 11】 次の山積み表の『A 工事』にかかる合計人数と日数で、最も適当なものはどれか。



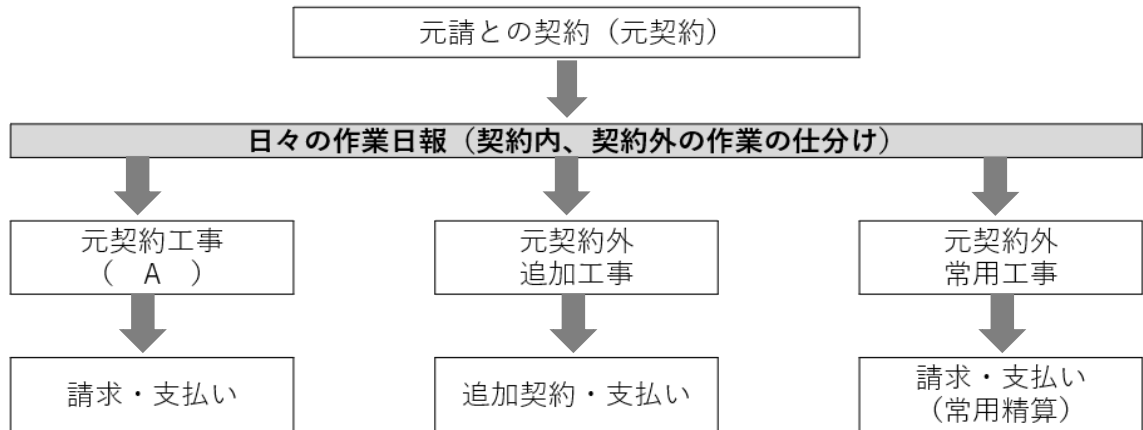
- ① 合計人数 : 15 人 日数 : 3 日
- ② 合計人数 : 9 人 日数 : 3 日
- ③ 合計人数 : 16 人 日数 : 4 日
- ④ 合計人数 : 6 人 日数 : 3 日

【問 12】 原価管理計画に関する次の表の ( A ) に当てはまる語句として、最も適当なものはどれか。



- ① 見積原価の管理
- ② 標準原価の管理
- ③ 実際原価の管理
- ④ 製造原価の管理

【問 13】 予算実績管理に関する次の表の（ A ）に当てはまる語句として、最も適当なものはどれか。



- ① 出来高査定
- ② 売買査定
- ③ 見積査定
- ④ 予算実績管理

【問 14】 品質の特性に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

- ① JIS 規格とは、産業標準化法に基づき制定される国家規格である
- ② ISO 規格とは、国際標準化機構によって策定された国際規格である
- ③ 建築基準法とは、建築活動を規定する最も基本となる法律である
- ④ JASS とは、産業標準化法に基づき制定される国家規格である

【問 15】 次の記述の（ A ）に当てはまる語句として、最も適当なものはどれか。

総合工事業者は「（ A ）」や「施工要領書」で施工の具体的な方法を計画し、その通りに施工する事を工事着手前に発注者に約束する。次に専門工事業者等はそれらの文書と、過去の検討過程をよく理解して、「工種別（ A ）」「工種別施工要領書」を作成し総合工事業者に提出する。

- ① 施工計画書
- ② 施工管理書
- ③ 設計計画書
- ④ 設計管理書

【問 16】 QC7つ道具に関する次の記述の（ A ）に当てはまる語句として、最も適当なものはどれか。

特性要因図、チェックシート、層別、パレート図、管理図、（ A ）、散布図

- ① ヒートマップ
- ② ピポットテーブル
- ③ ダイアログボックス
- ④ ヒストグラム

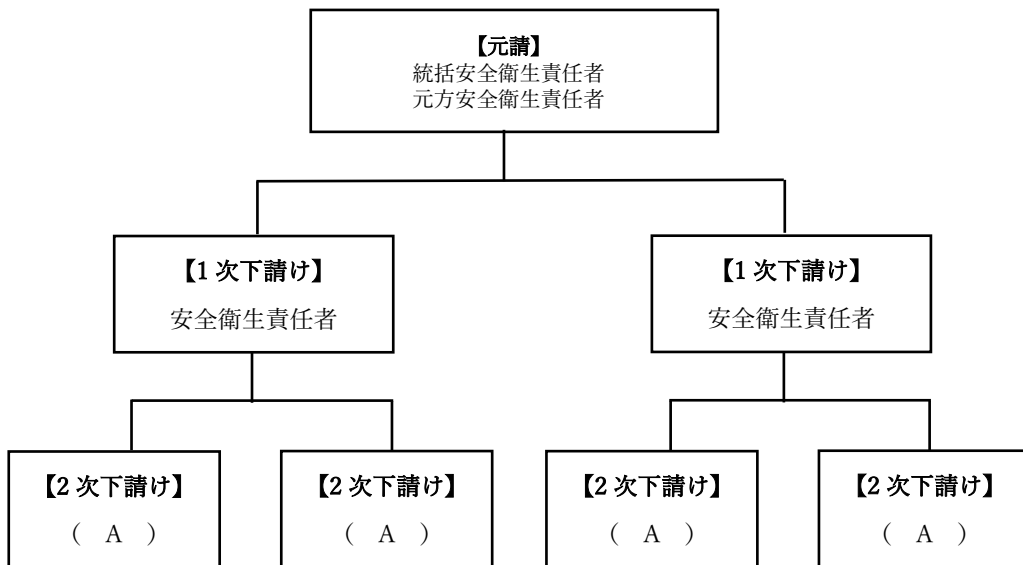


【問 17】 度数率に関する計算式の（ A ）に当てはまる語句として、最も適切なものはどれか。

$$\text{度数率} = \text{死傷者数} / \left( A \right) \times 100 \text{ 万時間}$$

- ① 延べ労働日数
- ② 延べ労働時間数
- ③ 延べ作業員人数
- ④ 月平均労働時間数

【問 18】 次の表の（ A ）に当てはまる語句として、最も適切なものはどれか。



- ① 作業責任者
- ② 安全衛生責任者
- ③ 工事責任者
- ④ 法令上の責任者は不要

【問 19】 リスクアセスメントに関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

- ① 作業を始める前に（計画段階で）、その作業に潜むリスク（危険な物、有害な物）を洗い出す
- ② 洗い出したリスクそれぞれはどの程度の頻度で発生するのか、どのくらいの怪我、病気になるのかなどリスクの大きさを予想（見積り）する
- ③ 予想したリスクそれぞれについて大きなものから順に、許容できないリスクはすべて対策をたてる
- ④ 作業後に対策を実施し許容できないリスクを減らす

【問 20】 三次元計測で使用する測量機器として、最も不適当なものはどれか。

- ① GNSS
- ② 三次元レーザースキャナ
- ③ BIM
- ④ トータルステーション

【問 21】 次の条件で、48,500 mmの距離を鋼製巻尺で温度補正を行い設定する場合、実長距離に最も近いものは次のどれか。

条件：測定時の張力＝検定張力      標準温度＝20℃  
測定時の温度＝5℃                  スチールの線膨張係数＝0.0000115

- ① 48,508 mm
- ② 48,492 mm
- ③ 48,503 mm
- ④ 48,497 mm

【問 22】 トータルステーションの距離測定に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

- ① トータルステーションの距離測定には、位相差測定方式とパルス測定方式がある
- ② トータルステーションの距離測定は、位相差測定方式とパルス測定方式ともに、水平距離を測定している
- ③ 位相差測定方式とは、一定周期で強弱を変化させた測距光を用い、発せられた光と反射してきた光の間に距離に応じて生じる位相差から距離を求める方式
- ④ パルス測定方式とは、ごく短い時間点灯させた測距光を用い、点灯した時刻と測距光が反射して戻ってきた時刻の差から距離を求める方式

【問 23】 通り心（基準線）の設定に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

- ① 通り心の追い出しとなる敷地境界や既存建物などはあらかじめ監理者、元請け職員と現地にて確認を行う
- ② 日本で用いられている平面直角座標は全国で 19 の座標系に区分されている
- ③ 縮尺係数についての確認や、通り心設定方法を決定するのは、建築測量技能者である
- ④ 実地において追い出す距離は、水平距離である

【問 24】 基準レベルの設定に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

- ① 各階基準レベルの追い上げは、建物の軸縮み予想量により、階高を設計寸法と異なる値で設定する場合がある
- ② 各階基準レベルの追い上げは、2 カ所以上で行い、追い上げ誤差や間違いがないことを確認する
- ③ 基準レベル設定場所は、後になって確認できる連続した同一面が望ましい
- ④ 各階基準レベルの追い上げは、S 造の場合は鉄骨歪み直し完了後に、実施することが望ましい

【問 25】 仕上げ墨出しに関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

- ① 間仕切り墨出し前に、平面詳細図と建具詳細図との確認をしておくことが望ましい
- ② 「建築基準法 施行令第 114 条第 2 項 防火上主要な間仕切り壁の規定」に定められている火災拡大を抑制するための壁を、一般に耐火壁という
- ③ 仕上げ墨出しは、すべてのおさまりを相対的に考慮して行う必要がある
- ④ 耐火壁や遮音壁は、一般壁と同じ工程で墨出しすることが望ましい

## 2022年 第1回

### 登録建築測量基幹技能者講習 修了試験問題解答

問 1	問 2	問 3	問 4	問 5
①	①	③	③	②

問 6	問 7	問 8	問 9	問 10
④	②	③	④	④

問 11	問 12	問 13	問 14	問 15
③	①	①	④	①

問 16	問 17	問 18	問 19	問 20
④	②	②	④	③

問 21	問 22	問 23	問 24	問 25
①	②	③	④	④

#### 配点

4点 × 25問 = 100点

#### 合格基準

登録建築測量基幹技能者認定講習修了試験において、100点満点で60点以上を取得した者を合格者とする。